

2020年度九州体育・保健体育ネットワーク研究会 ファイナル in 福岡 —COVID-19 禍における保健体育の意義—(20210106 第1案)

1 目的

九州各県の体育科・保健体育科教育に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、新学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。また、全国の体育・保健体育ネットワーク研究会の交流を促進する。

2 主催/共催/後援(予定)

〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会
北信越ネットワーク研究会、中国・四国ネットワーク研究会
関東・東海・関西ネットワーク研究会

〔共催〕福岡県体育研究所、鹿屋体育大学、宮崎大学、熊本大学、福岡教育大学、佐賀大学

〔後援〕大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会
長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会

〔協力〕台湾師範大学、韓国中央大学

3 期日

令和3年3月6日(土) 10:00~17:00(受付:9:30~)

4 場所

福岡県立スポーツ科学情報センター(アクション福岡)

住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4 TEL 092-611-1717

5 方式

対面 50名まで(先着順) ※状況によって、WEBのみの開催とします。

WEB 200名まで参加可能

→ ZOOM アドレス等は、開催日が近くなりましたらメールでお知らせします。

6 内容

9:30 受付

10:00-11:30 WEBポスターセッション 発表は、WEBとします。

テーマ別セッション・ルームでの研究成果、教材等の発表

12:30 開会式

第1部 学校から国会へ・・・コロナ禍における保健体育の意義と期待

12:30~13:30 下野 六太(参議院議員・元中学校教諭、九州保健体育ネットワーク会員)

第2部 International Association for Physical Education in Higher Education ; AIESEP
(国際高等教育体育学会) 報告

13:40~14:20 コロナ禍において世界はどのように保健体育を進めているのか。
本多壮太郎(福岡教育大学)

第3部 COVID-19 禍における保健体育の授業を考える

14:30-15:10 中学校、高等学校における新型コロナウイルス感染症対策を共有する
佐藤 豊(桐蔭横浜大学)

第4部 COVID-19 禍における学習評価

15:20~16:20 コロナ禍における学習評価を考える 中学校移行期を迎えて
高橋 修一(日本女子体育大学) 石川 泰成(埼玉大学)

16:30~ 事務連絡

16:40~ 閉会式

7 参加費

無料 (今年度の研究紀要は、ホームページにPDFにてアップします)

※ 九州ネットワークの会費については、2020年度会費未納入者のみ振込にて徴収します。

8 参加申し込み

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。

なお、2月26日(金)までにお申し込みください。(携帯からのアクセスも可)

ポスター申し込みもこちらからです。

※ポスター締切は、2月12日(金)です! ポスター原稿を事務局: 梶(かこい) chichicaco@nifs-k.ac.jpまでお送りください。

<https://forms.gle/y5k6Ahj87ptUo86f9>

↑ 申し込画面にジャンプします。

携帯からの参加

申込はこちらから

問い合わせは、事務局: 梶(かこい) chichicaco@nifs-k.ac.jpまでお願いします。



9 その他

- ◆ コロナ禍での開催であるため、会場での参加は50名までとします。(先着順)
学生はWEBでの参加のみ受け付けます。今後の状況によっては、WEBのみの開催となります。
- ◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。

10 問合せ/連絡先

事務局: 鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系

担当: 梶 ちか子 (0994-46-4971, chichicaco@nifs-k.ac.jp)

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL/FAX 0994-46-4971

11 会場案内



バス

JR博多駅 バスターミナル1 4番乗り場から

37, 39, 39-Bのバス・・・約20分

(月隈団地経由) (アクション福岡前下車)

福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停から37, 38, 39のバス・・・約7分

車

JR博多駅から・・・約20分

都市高速道路利用の場合

福岡方面から: 月隈ランプ出口を降りて・・・約6分

太宰府方面から: 金の隈ランプ出口を降りて・・・約9分

ポスター作成イメージ

※ ポスター締切は、2月12日(金)です!
ポスター原稿を事務局：梶(かこい) chichicaco@nifs-k.ac.jp までお送りください。

エクセル、
ワード、
PPTでA4

実践的指導力を育む大学ダンス授業の検討 —ダンスの技能評価力獲得を目指して—

鹿屋体育大学 梶ちか子

(背景および目的)

近年、教員養成を担う体育系大学授業では、ダンス指導力を高めるための様々な実践が試みられている。日本では、教員に求められる指導能力を高めるため、日本教育大学協会(2004)の提言を基盤として、日本教育大学協会の提言を基盤として、「教育実践を科学的に検証し、教員養成全体で実践的指導力を育成する」という方向性を示している。この「実践的指導力」を育成するためには、示範などに必要な運動技能および指導能力の育成も重要である。

本発表は、以上の授業において、運動技能および指導能力の獲得を目指し、ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践した。

発表者の
所属、氏名等

(ダンス単元構造図)

【ダンス単元構造図】

鹿屋体育大学 梶ちか子

単元名: ダンス

単元目標: 1.ダンスの基礎知識・技能を習得し、ダンスの楽しさや魅力を体験する。2.ダンスの基礎知識・技能を習得し、ダンスの楽しさや魅力を体験する。3.ダンスの基礎知識・技能を習得し、ダンスの楽しさや魅力を体験する。

単元構成: 1.ダンスの基礎知識・技能の習得(10回) 2.ダンスの基礎知識・技能の習得(10回) 3.ダンスの基礎知識・技能の習得(10回)

単元評価: 1.ダンスの基礎知識・技能の習得(10回) 2.ダンスの基礎知識・技能の習得(10回) 3.ダンスの基礎知識・技能の習得(10回)

タイトルを
お願いします

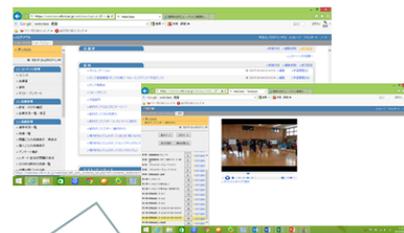
(ダンス授業の履修・開講状況)

- ・開講時期: 2015年～2016年度前期
- ・受講生: 116名(男:69名、女47名)
 ※うち101名が教員免許取得希望者(87.1%)
- ・授業開講時期: 3, 4年次
- ・指導教員: 1名 TA: 1名(大学院生)

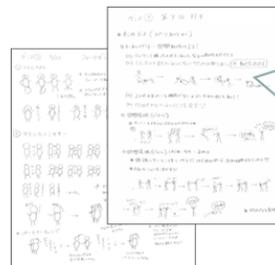
(ICTを利用した授業実践例)



タブレットを利用して、自分や仲間の動きを観察・評価



授業終了後、学内のe-learningシステムに授業映像をアップ



授業時間外に映像を視聴して授業ノートを作成

イラスト使って実技内容を記載したり、実施上のポイントや指導の際の注意点をまとめる

(授業成果まとめ・今後の課題)

- ダンス授業におけるICTの活用は、運動技能の改善や授業終了後の指導内容の確認・活用に有効であり、主体的に取り組む姿勢を向上させる可能性が示唆された。
- 学生自身は、動きを観察する活動を通して、技能評価力の向上を実感していた。
- 学校現場で指導する際に、児童・生徒の動きを評価した上で、動きの改善・向上に向け、具体的なアドバイスが示せるよう、技能評価観点について整理をする必要性を感じた。

作成資料、指導案等の
提供も可能です